

＝平成30年度早川南小学校だより＝

はるき



平成30年6月18日

No.13

校長 坂野修一

## 吹奏楽仲間入りの会

47

金曜日の学校開放日につきましては、午後の時間帯を中心に、多くの保護者や関係者のご来校をいただきましてありがとうございました。子どもたちの様子はいかがでしたでしょうか？また、救急法講習会やプール管理の説明会にもご参加ありがとうございます。夏季休業中のプール当番につきましては、くれぐれもよろしくお願ひします。なお、**当番変更の連絡は教頭まで**確実にお願いします。

さて、「47」という数字は何でしょう？金曜日の朝の活動、「吹奏楽仲間入りの会」の際に、私が子どもたちに示した数字です。6年生が「日本の都道府県の数です」と答えたのには思わず苦笑い。「47を示したら都道府県の数」くらいのことは想定していなければいけないのに、私が求めていた答えは、吹奏楽の取り組み年数でした。

4月に着任し、いわゆる本校の沿革について調べてみたら、昭和46年(1971年)に吹奏楽活動が始まっており、この間47年間も続いていることがわかりました。そんな伝統を守る団員になったことを3年生に伝えたく、「47」の数字を提示しました。さらに、「努力」「和」の2つの漢字を提示し、努力を惜しまず頑張ってほしいこと、そして、ふだんから和やかな雰囲気の中で学校生活を送り、吹奏楽を楽しんでほしいことを伝えました。「努力」、聞き慣れた言葉です。あまりにも当たり前に使っている言葉ですが、改めて辞書で調べてみますと、「努力…ある目的のために力を尽くして励むこと。」と書いてありました。力を尽くすには、成し遂げたいと思える目標が必要です。その目標が、ちょうど5ヶ月後の11月18日(日)に行われる山梨県バンドフェスティバルです。新しい曲として、山梨県出身者が多く占めるグループ、THE BOOMの「風になりたい」を練習し始めましたが、地道に努力を重ねて良い曲づくりに励んでまいりたいと思います。

放課後の練習では、3年生4人は、全員トランペットを手にしていましたが、一瀬先生の指導のもと熱心に練習をしていました。楽器の持ち方、ピストンを押す練習、マウスピースへの口の当て方、息の出し方 etc、懇切丁寧な一瀬先生の指導で音が出せるようになってきました。子どもたちの飲み込みのはやさに驚くばかりです。保護者の皆様、お子様への励ましをよろしくお願ひします。



## 地震発生に備えて…



今朝、登校の子どもたちを玄関で出迎える際に、所持しているスマホの通知音がかやけに鳴っていると思ったら、大阪での震度6弱の地震発生を伝えているものでした。職員室のテレビを付けたところ、大きく建物が揺れる映像が流れていました。関西に知人のいる先生は、「繋がらない…」と心配をしていました。通学時間帯での地震でしたが、大阪の学校はどのように対応をしたのかな？と考えている私があります。人間は、イメージしていないことは行動できないと言われていています。大地震が発生した時とっさにどう行動するか、ふだんから備えていなければいけませんね。最近、関東でも地震が頻発しています。今晚のニュースは、今朝の地震の話題が中心になるのでしょうか。この機会に、ご家庭でも地震発生に備えての話をしていただけると幸いです…。